取扱説明書

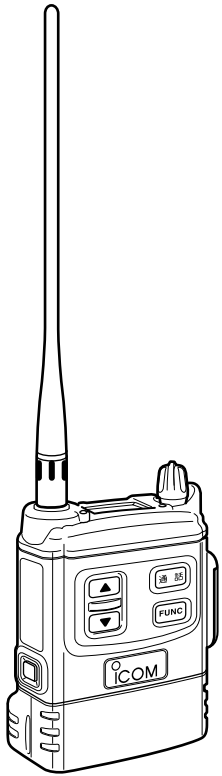
特定小電力トランシーバー

IC−4880

CALLPRO®

コールプロ

この取扱説明書は、別売品のことも記載していますので、お読みになったあとも大切に保管してください。



Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
本製品は、技術基準適合証明で認定された陸上移動業務無線局(作業連絡用)無線設備の同時通話型特定小電力トランシーバーです。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

※本製品は、IC-MS4880(弊社製品)と併せてご使用いただくことで、通話できるシステムです。

電波法上のご注意

★本製品は電波法に基づいて、特定無線設備の工事設計についての認証(技術基準適合証明)を取得していますので、付属のアンテナを直接本製品に接続してご使用の場合は、無線局の免許は必要ありません。
なお、FA-S28U(付属品)やFA-S29U(別売品)以外のアンテナ、またはこれらのアンテナを加工したり延長ケーブルを接続したりして運用したときは、電波法違反になります。

◎特に他局の通信を妨害したり、通話の内容を他に漏らし、これを窃用することは、かたく禁じられています。

◎分解や改造をして使用することは、かたく禁じられています。

◎使用できるのは、日本国内に限られています。

登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、iCOM、CALLPROは、アイコム株式会社の登録商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

本製品の概要について

◎JIS保護等級7(防浸形)の防水性能を保証できるよう設計されています。(バッテリーパック、アンテナ装着時に限る)

◎本製品は、IC-MS4880(弊社製品)と併せてご使用いただくことで、電話のような同時通話(複信方式)ができます。

◎基本的な同時通話は、本製品(子機：最大4台)間通話＋親機(IC-MS4880：1台)の最大5名です。

◎IC-MS4880(親機)の有線拡張機能を使用するシステムでは、最大9名の同時通話ができます。

標準構成品 〈充電器(☞P18)は、別売品です。〉

本製品には、下記のものを同梱しています。

- 無線機本体 ……1
- アンテナ(FA-S28U) ……1
- リチウムイオンバッテリーパック(BP-238/BP-238N) …1
  ※BP-238、またはBP-238Nのどちらかが付属しています。
- ハードケース(LC-160) ……1
- 取扱説明書(本書)、保証書

使用後はリサイクルへ

この製品は、充電式電池使用機器です。
希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

はじめに

防水性能について

本製品は、JIS保護等級7(防浸形)の防水性能がありますが、完全防水構造ではありません。
下記のような環境で使用すると防水性能を保証できませんのでご注意ください。

- 水深1m以上、または30分間以上水中に放置したとき
- 雨の中や、水滴が付着、または濡れた手でバッテリーパックやアンテナ、防水形スピーカーマイクを付けたり、はずしたりしたとき
- 海水や砂、泥などが無線機に付着したまま放置したとき
- 落下等外的衝撃により、樹脂変形、歪み、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じたとき
- 長時間、高い水圧をかけたとき
- 蛇口からの水や湯を直接当てたとき
- バッテリーパックを無線機本体に取り付けないで使用したり、下記に指定の別売品以外を使用したとき
- 無線機本体とバッテリーパック端子間の腐食による故障、または損傷があるとき
- 使用温度範囲からはずれた温度で使用したとき
- 薬品等の蒸気が発散、または薬品にふれるところに放置したとき

■ JIS保護等級7(防浸形)とは

バッテリーパックを正しく装着した状態で水深1mの静水(常温の水道水)に静かに沈め、30分間放置したのちに取り出して、無線機として機能することです。

■ 別売品の防水性能について

バッテリーパック(BP-238/BP-238N)は、無線機本体に装着することで、JIS保護等級7(防浸形)の防水性能になります。

※HM-149(防水コネクター付きタイピン型マイクロホン)のコネクター部分はJIS保護等級7(防浸形)の防水性能ですが、マイクロホン部は防水構造ではありませんので、ご注意ください。

※BP-238、BP-238N、HM-149、FA-S28U、FA-S29U以外の別売品(☞5章)については、防水性能を保証していません。

車両運用上のご注意

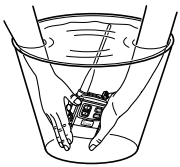
運転中の運用は、道路交通法の規制の対象になります。
安全運転に必要な外部から音が聞こえない状態で車両を運転しないでください。
一部の都道府県では、走行中にイヤホンやヘッドホン等を使用することが条例で規制されています。
運用する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてください。
「安全上のご注意」(☞Pix～xviii)についても併せてご覧ください。

取扱説明書の内容について

この取扱説明書に記載の内容は、出荷時の設定で使用できる基本的な操作や機能について記載されています。
※あらかじめ販売店で設定をご依頼いただくことにより使用できる機能の操作については、販売店におたずねください。

海水や砂、泥などが付着したときは？

海水や砂、泥などが無線機に付着したときは、真水で洗い流してください。
このとき、バッテリーパックやアンテナは、無線機本体から絶対にはずさないでください。
洗い流したあとは、水分をふき取り、十分に乾燥させてからご使用ください。



はじめに

取り扱い上のご注意

◎アンテナを持って製品を持ち運んだり、振り回したりしないでください。
◎本製品を極端に寒い場所から持ち運んだ場合は、結露する可能性があります。
結露した場合は、水分をふき取ってからご使用ください。
◎雨の中や水滴が付着、または濡れた手のままでバッテリーパックやアンテナ、防水コネクター付きタイピン型マイクロホンを付けたり、はずしたりしないでください。
◎水や湯を水道の蛇口から直接当てないでください。
◎無線機本体やバッテリーパックと充電器の各端子(充電端子および電源ジャック)、アルカリ電池ケースの電池端子にゴミやホコリが付着すると、正常に使用できないことがありますので、ときどきお手入れしてください。
◎磁気カードを無線機に近づけないでください。
磁気カードの内容が消去されることがあります。
◎バッテリーパックをお買い上げいただいたときや、約2ヵ月以上充電しなかったときは、必ず充電してください。
◎本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

もくじ

はじめに ―― i
もくじ ―― vi
安全上のご注意(必ずお読みください。) ―― ix
■ 無線機本体について …… ix
■ バッテリーパックについて(BP-238/BP-238N) …… xii
■ 充電器について(別売品) …… xvi

1.ご使用前の準備 ―― 1

■ 付属品の取り付け …… 1
■ ショルダーストラップの取り付け(別売品：MB-57L) …… 3
■ ベルトクリップの取り付け(別売品：MB-104) …… 3
■ マイクロホンとイヤホンの取り付け(別売品) …… 4

2.各部の名称と機能 ―― 5

■ 前面部 …… 5
■ 表示部 …… 7

3.通話のしかた ―― 8

1 電源を入れる …… 8
2 音量を調整する …… 8
3 メモリーチャンネルを選択する …… 9
4 呼び出しをする …… 10
5 呼び出しを受ける …… 10
■ 通話時のアドバイス …… 11

もくじ

4.セットモードについて ―――――― 12

■[セットモード]に移行するには …… 12
■設定項目[❶～❻]について …… 13

5.別売品とその使いかた ―――――― 16

■別売品一覧表 …… 16
■充電のしかた …… 18
■連結充電について …… 19
■ヒューズ交換について …… 20
■安全な充電のために …… 21
■正しい充電のために …… 21
■電池の残量表示について …… 22
■電池の残量警告音について …… 22
■バッテリーパックの定格について …… 23
■急速充電器の定格について …… 23
■BP-239(アルカリ電池ケース) …… 24
■アルカリ電池ケースの運用時間 …… 24
■アルカリ電池ケースを正しくお使いただくために …… 25
■FA-S29U(IC-4880用防水形短縮アンテナ) …… 25
■OPC-636(マイクスイッチ内蔵型接続ケーブル)/
OPC-661(マイク接続ケーブル) …… 26
■HS-86/HS-92(ヘルメット取り付け型ヘッドセット)と
EH-11(イヤーパッド型スピーカー)の組み立て …… 27
■HS-88(ヘッドセット) …… 28
■HM-104(単一指向性タイピン型マイクロホン)/
HM-104A(無指向性タイピン型マイクロホン) …… 28
■HM-123(本体取り付け型マイクロホン) …… 29
■HM-149(防水コネクター付きタイピン型マイクロホン)… 29
■EH-12(ヘルメット取り付け型スピーカー) …… 30
■EH-13(耳掛け型イヤホン)…… 30

5.別売品とその使いかた(つづき)

■EH-14(オープンエアー型イヤホン) …… 31
■EH-15(イヤホン) …… 31

6.保守について ―――――――――― 32

■メモリーチャンネル表示一覧表 …… 32
■日常の保守と点検について …… 33
■防水性能維持の定期点検と保守について …… 33
■故障かな？と思ったら …… 34
■故障のときは …… 36

安全上のご注意

安全にお使いいただくために、
ご使用の前に、必ずお読みください。

- ▶使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- ▶次の『⚠危険』『⚠警告』『⚠注意』の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- ▶お読みになったあとは、いつでも読める場所へ大切に保管してください。

■ 無線機本体について

⚠危険	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

引火性ガスの発生する場所では、絶対に使用しないでください。
引火、火災、爆発の原因になります。

⚠警告 下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎**民間航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、これらの関連施設周辺では絶対に使用しないでください。**
交通の安全や無線局の運用などに支障をきたす原因になります。
運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。

◎**電子機器の近く(特に医療機器のある病院内)では絶対に使用しないでください。**
電波障害により電子機器が誤動作、故障する原因になりますので、電源を切ってください。

◎**製品の分解や改造は、絶対にしないでください。**
また、ご自分で修理しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

◎**アンテナを接続しないで送信したり、送信しながらアンテナを接続しないでください。**
感電、故障の原因になります。

◎**アンテナの端を持って無線機本体を振り回したり、投げたりしないでください。**
本人や他人に当たって、けがや故障、破損の原因になります。

◎**大きな音量でヘッドホンやイヤホンなどを使用しないでください。**
大きな音を連続して聞くと、聴力障害の原因になります。

◎**万一煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。**
すぐに電源を切り、無線機本体からバッテリーパックを取りはずしてください。
煙が出なくなるのを確認し、販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

安全上のご注意

■無線機本体について(つづき)

⚠注意	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

◎アンテナを折り曲げたり、ねじったりしないでください。
変形や破損の原因になることがあります。

◎針金などの細い棒でスピーカー部の穴に触れないでください。
故障の原因になることがあります。

◎無線機をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして火災、けが、故障の原因となることがあります。

◎直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所に置かないでください。
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。

◎指定以外の別売品を使用しないでください。
故障の原因になることがあります。

◎テレビやラジオの近くで送信しないでください。
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

◎−10℃〜+50℃以外の環境では使用しないでください。
故障の原因になることがあります。

◎清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対に使用しないでください。
ケースが変質したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
普段はやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

■バッテリーパックについて(BP-238/BP-238N)

⚠危険	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

◎火の中に投入したり、加熱しないでください。
バッテリーパック内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。

◎コンクリートなどの堅い床に落としたりするなど、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用をつづけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

◎火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での充電はしないでください。
保護装置が動作して、充電できなくなったり、保護装置を破損して、破裂、発煙、発火や火災、やけどの原因になります。

◎火やストーブのそば、車内や炎天下など、+60℃を超える環境で放置、または使用しないでください。
バッテリーパックの性能や寿命が低下したり、破裂、発煙、発火や火災、液もれ、やけどの原因になります。

◆バッテリーパックをご使用の際に、異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

安全上のご注意

■バッテリーパックについて(BP-238/BP-238N)つづき

⚠危険 **下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。**

◎下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液もれ、感電、やけどの原因になります。

- バッテリーパックの端子にハンダ付けをしないでください。
- バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
- ネックレスなどの金属類や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックといっしょに持ち運んだりしないでください。
- バッテリーパックは、単体で水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
- 弊社指定の充電器での充電、および無線機の使用について厳しい検査をしていますので、弊社指定以外の無線機や充電器、およびそれ以外の用途には使用しないでください。
- バッテリーパックから漏れ出した液が目に入ったときは、こすらないでください。
  失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- バッテリーパックは、分解や改造をしないでください。

⚠警告	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎**使用中や充電中、または保管中に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください。**
使用をつづけると、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれ、故障の原因になります。

◎**赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。**
感電やけがの原因になります。

◎**電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置かないでください。**
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

◎**指定の充電時間以上、充電しないでください。**
満充電後、すぐに再充電を繰り返すと、過充電になり、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になります。

◎**指定の充電時間を超えても充電を完了しないときは、ただちに充電を中止してください。**
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

◎**バッテリーパックから漏れだした液が皮膚や衣服に付着したときは、放置しないでください。**
皮膚に障害を与えるおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

◎**バッテリーパックは、ぬれた状態で弊社指定の無線機や充電器に装着しないでください。**
無線機や充電器の電源端子接点部に水や海水が付着して、故障の原因になります。

◎**テープを巻きつけたり、加工したりしないでください。**
バッテリーパック内部からガスが発生することがあり、破裂、発熱、液もれの原因になります。

安全上のご注意

■バッテリーパックについて(BP-238/BP-238N)つづき

⚠注意 **下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。**

◎下記の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。

- バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。
  長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、バッテリー残量が中レベルを表示するまで使用して、無線機から取りはずした状態で保管してください。
- 0℃～+40℃以外の環境で充電しないでください。
- −10℃～+50℃以外の環境で使用しないでください。
- 寒い戸外や冷えたままで充電しないでください。
- 無線機を使用しないときは、必ず電源スイッチを切ってください。
- 長期(約1年)間使用しないときは、バッテリーパックを無線機から取りはずして、−20℃～+25℃の風通しのよい乾いた環境に保管してください。
  3ヶ月間ほど使用しないときは、−20℃～+35℃の湿気の少ない場所に保管してください。
  1ヶ月間ほど使用しないときは、−20℃～+45℃の湿気の少ない場所に保管してください。

◎清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対に使用しないでください。

ケースが変質したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
普段は、乾いたやわらかい布でふいてください。

■ 充電器について(別売品)

⚠危険	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。

- ACアダプターは、充電器(BC-161)で指定された別売品(BC-165)以外のものを使用しないでください。
- 弊社指定以外のバッテリーパックは、使用しないでください。
  BP-238/BP-238N専用の充電器です。
- 分解や改造をしないでください。
  また、ご自分で修理しないでください。

安全上のご注意

■充電器について(別売品)つづき

⚠警告 **下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。**

◎**下記の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。**

- 赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。
- 充電器は、**5台以上連結して充電しない**でください。
  連結して**充電できるのは、最大4台まで**です。
- 充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないください。
  また、水にぬれたときは、使用しないでください。
- ぬれた手で電源プラグや機器に絶対触れないでください。
- 電源コードや接続ケーブルの上に乗ったり、重い物を載せたりしないでください。
- 電源コードや接続ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
- 充電器の充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
- 電源コードや接続ケーブルが傷ついたり、ACコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用しないでください。
  すぐにACコンセントから電源コードを抜き、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げ販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

⚠注意 下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になることがあります。

- 0℃～+40℃以外の環境で充電しないでください。
- 充電が完了したバッテリーパックを再充電しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
- 電源コードを抜き差しするときは、電源コードを引っ張らないでください。
- 充電後や充電しないときは、ACコンセントから電源コードを抜いてください。

◎直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。

充電器の火災、故障、変形、変色、またはバッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になることがあります。

◎充電器を保管するときは、−10℃～+70℃で湿気の少ない場所に保管してください。

サビの発生、性能の低下の原因になることがあります。

◎清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対使用しないでください。

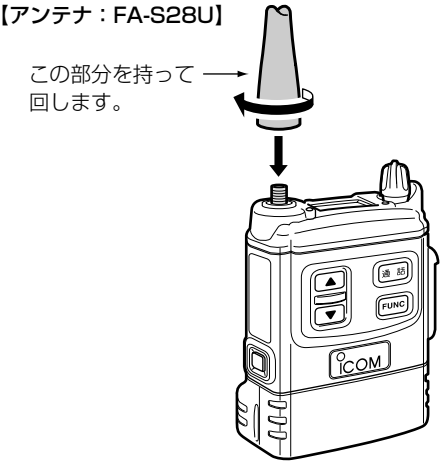
ケースが変質したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。

普段はやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

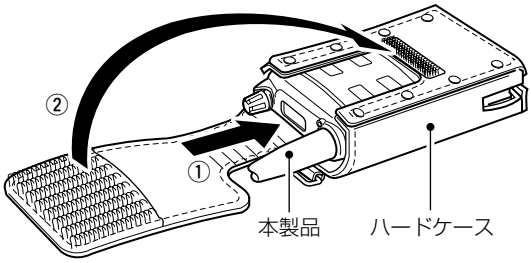
1 ご使用前の準備

■付属品の取り付け

【アンテナ：FA-S28U】



【ハードケース：LC-160】装着した状態で充電できます。
※BP-239(別売品：アルカリ電池ケース)にも使用できます。

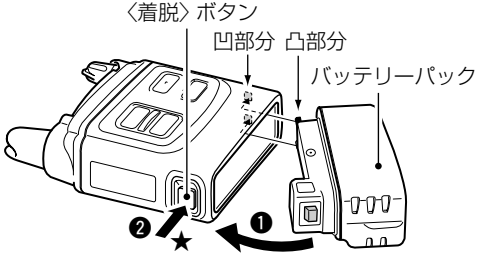


【バッテリーパック：BP-238/BP-238N】

①バッテリーパック側の凸部分を無線機側の凹部分と密着させ、そこを支点にしながら[❶]の方向に押し込みます。

②「カチッ」と音がしたとき、〈着脱〉ボタンでバッテリーパックがロックされていることを確認します。

★取りはずすときは、〈着脱〉ボタンを[❷]の方向に押しながら、[❶]と逆方向に引くとロックがはずれます。

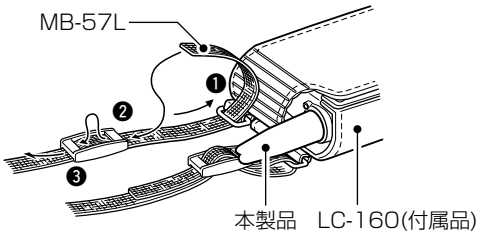


⚠警告

◎**本製品やバッテリーパックがぬれたり汚れた状態で、取り付けや取りはずしをしたり、充電をしたりしないでください。**
本製品やバッテリーパック、または充電器の各端子が錆びたりして、故障の原因になります。

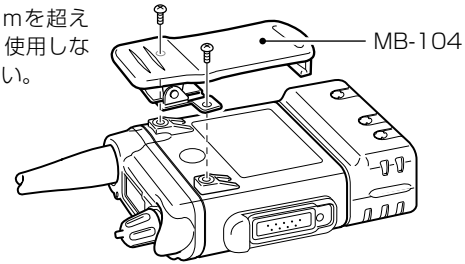
◎**アンテナの端を持って無線機本体を振り回したり、投げたりしないでください。**
本人や他人に当たって、けがや故障、破損の原因になります。

■ ショルダーストラップの取り付け(別売品：MB-57L)
付属品のLC-160と組み合わせてご使用になれます。
図(❶～❸)の順に取り付けます。



■ ベルトクリップの取り付け(別売品：MB-104)
※ハードケース(LC-160：付属品)と併用できません。

長さが4mmを超えるビスは、使用しないでください。

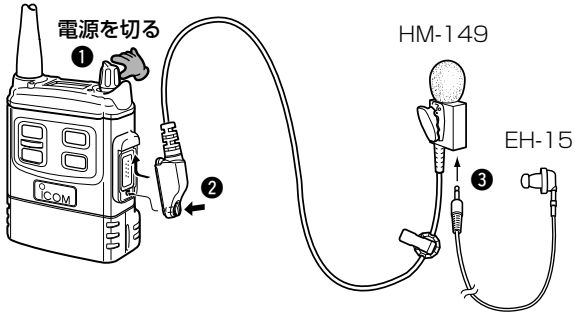


■ マイクロホンとイヤホンの取り付け(別売品)

マイクロホンとイヤホンは、必ず取り付けてください。
取り付けていない場合、通話できませんのでご用意ください。
用途に応じて、弊社別売品(☞5章)から選択してください。

【接続の組み合わせ例：HM-149+EH-15】

電源[❶]を切ってから、防水コネクター付きタイピン型マイクロホン[❷]とイヤホン[❸]を接続します。 (☞P29、P31)



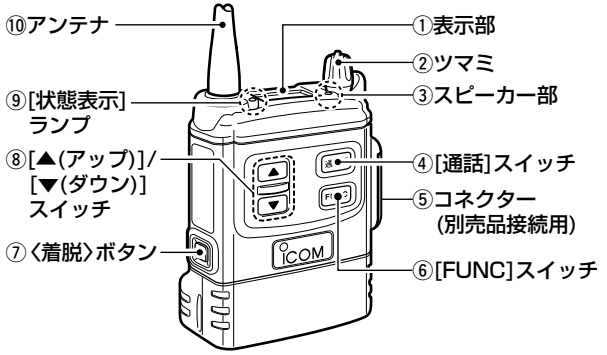
⚠警告

下記の事項を守らないと、聴力障害の原因になります。

- 大きな音量で使用しないでください。
- コネクターの取り付けや取りはずしをするときは、大きな異音が出ることがありますので、電源を切ってください。
  また、イヤホンなどは、耳からはずしてください。
- 本製品の音量は最小にしておき、イヤホンなどを耳に当ててから、聞きやすい音量に調整してください。
  ※何も音が出ていない状態(待ち受け中)での調整は、無線機を操作したときのビープ音が小さく聞こえはじめる程度にしておき、通話を開始してから聞きやすい音量に調整してください。

2 各部の名称と機能

■ 前面部



① 表示部(☞P7)
運用状態を表示します。

② ツマミ(電源スイッチ付き)
電源の「ON」/「OFF」と音量の調整をします。(☞P8)

③ スピーカー部
スイッチの操作音だけが鳴ります。
※スピーカー部の音量は、調整できません。
※コネクターに接続されたスピーカーやイヤホンから聞こえる操作音と通話時の音声は、調整できます。

⚠注意

スピーカー部[③]の穴に針金などを差し込まないでください。
スピーカー部の穴は、内部に貼られた防水シートにより無線機内外の気圧を調整する機能を兼ね備えています。
防水シートが破損すると、防浸性が失われる原因となることがあります。

④ **[通話]スイッチ**
押すごとに、「送信」と「受信」が切り替わります。
※販売店で、OPC-636(別売品)のマイクスイッチを使用するように設定されている場合は、機能しません。
※セットモード(☞4章)のときは、設定内容を確定します。

⑤ **コネクター(別売品接続用)**
スピーカーマイクやヘッドセットなどを接続(☞P4)します。
※コネクターの保護カバーは、付属していません。

⑥ **[FUNC]スイッチ**
長く押すごとに、ロック機能(☞P7)を「ON」/「OFF」します。
「ON」のときは、「🔑」を表示します。
※セットモード(☞4章)のときは、短く押すごとに設定項目が切り替わります。

⑦ **着脱ボタン**
バッテリーパックやアルカリ電池ケースの取り付けや取りはずしをします。

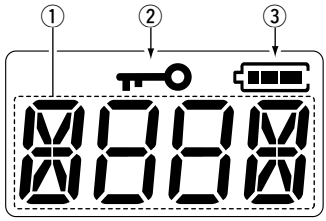
⑧ **[▲(アップ)]/[▼(ダウン)]スイッチ**
短く押すごとに、メモリーチャンネル番号を切り替えます。
また、セットモード(☞4章)のときは、短く押すごとに、設定内容を切り替えます。
※連続で切り替えるときは、長く押します。

⑨ **状態表示ランプ**
通話の状態を示します。
なお、同時通話中は、送信時の状態を優先表示します。
- 送信：赤色(点灯)
- 受信：緑色(点灯)

⑩ **アンテナ**
電波を発射、または受信する部分です。

電源を入れたときや各部のスイッチ(**[通話]**スイッチを除く)を操作したとき、表示部の照明が約5秒間点灯します。

■表示部



① **(メモリーチャンネル表示)**
メモリーチャンネルを表示します。
※セットモード(☞4章)のときは、設定項目や設定値を表示します。

② **(ロック機能)**
ロック機能(☞P6)の動作中に表示します。

③ **(電池残量)**
電池の残量を4段階で表示し、交換時期は、残量警告音と「LOW」を表示します。
(☞P22)

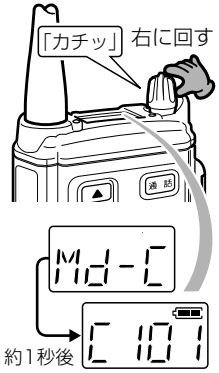
1 電源を入れる

電源を入れるときは、**[ツマミ]**を時計まわりに回します。

- **「カチッ」**と音がして、ビープ音が**「ピー」**と鳴ります。

電源を切るときは、**「カチッ」**と音がするまで、**[ツマミ]**を反時計まわりに回します。

- **電源を切る直前の表示状態を記憶★**して電源が切れます。
  ★表示を変更後、電源を2秒以内に切ると、変更が記憶されません。



■ メモリーモード(Md-C)表示について

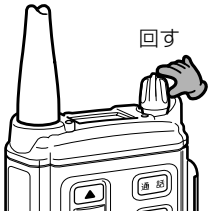
電源投入直後の約1秒間、本製品のメモリーモード(出荷時の設定：チャンネルメモリーモード)を表示(Md-C)したあと、電源を切る直前のメモリーチャンネル名称(例：C101)を表示します。

※モードの変更については、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

2 音量を調整する

[ツマミ]を大きく時計まわりに回すほど、音量が大きくなります。

音量によっては、聴力障害の原因になりますので、調整方法の詳細は、4ページに記載の「⚠警告」の内容をご覧ください。

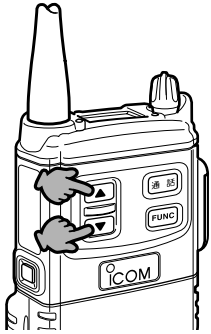


3 メモリーチャンネルを選択する

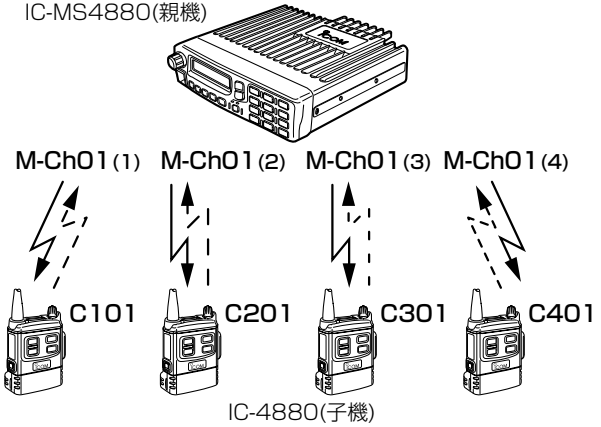
[▲(アップ)]/[▼(ダウン)]スイッチを繰り返し押して、あらかじめ登録された中からメモリーチャンネル名称(例：C101～C401)を選択します。(☞P32)

※長く押したときは、連続で切り替わります。

※出荷時、「常時送信」(☞P11)に設定されているため、本製品のチャンネルを設定すると、親機は、音声信号のない電波を受信します。



〈参考〉下記の図は、最大5名で同時通話する場合の構成です。



4 呼び出しをする

① **[通話]**スイッチ、またはマイクロホン(別売品)のマイクスイッチを押して、「ON」にします。
- ビープ音が「ピピッ」と鳴って、状態表示ランプが赤色に点灯します。

② マイクロホンに向かって、
**『こちらは××です。
○○さんどうぞ。』**
と相手(親機、または子機)に呼びかけます。
相手が応答したら、電話と同様に同時通話できます。

※出荷時、「常時送信」(☞P11)に設定されていますが、**[通話]**スイッチを押すまで、状態表示ランプは赤色に点灯しません。

5 呼び出しを受ける

スピーカー(別売品)やイヤホン(別売品)から相手の声が聞こえてきたときは、**[通話]**スイッチを押して、マイクロホンに向かって、
**『こちらは○○局です。
××さんどうぞ。』**
と応答すると、電話と同様に同時通話できます。

※状態表示ランプは、トーン周波数が不一致の信号を受信しても緑色に点灯します。
また、同時通話中は、赤色に点灯します。

■ 通話時のアドバイス

1. マイクロホンの使いかた

マイクロホンに向かって話すときは、マイクロホンと口元を約5cmはなし、普通に会話する大きさの声で通話してください。
マイクロホンを口元に近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、明瞭度が悪くなることがありますのでご注意ください。

2.通話する場所について

周囲の状況(天候、山や建物などの障害物など)により、受信しにくくなることがあります。
そのときは、場所を少し移動して通話してください。
また、テレビやラジオなどの電化製品や、パソコンおよび電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作することがありますので、はなれてご使用ください。

3.電波干渉について

比較的せまいエリアで、多くの局が通話するような状態では、電波の干渉(相互変調)による混信が発生することがあります。
このような混信は、各メモリーチャンネルに登録された周波数の組み合わせを適切に変更することで防止できます。
詳しくは、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

4.常時送信について

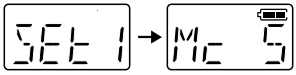
出荷時、本製品は、音声信号を含んでいない電波(無変調)が常に送信された状態に設定されています。
音声信号は、**[通話]**スイッチ(マイクスイッチ)を操作するまで送信されず、状態表示ランプも赤色に点灯しません。
※親機(IC-MS4880)側は、「チャンネルメモリーモード」で運用するとき「常時送信」になり、本製品がその信号を受信できる場合は、状態表示ランプが緑色に点灯します。

お好みの運用状況に応じて、[セットモード]から次の設定項目を変更できます。

❶マイク感度(☞P13)
❷反転表示(☞P13)
❸接続ケーブル(☞P14)
❹スケルチレベル(☞P14)
❺通話通知(☞P15)
❻秘話機能(☞P15)

■ [セットモード]に移行するには

① **[ツマミ]**を反時計まわりに回して、電源を切ります。
② **[通話]**スイッチを押しながら、**[ツマミ]**を時計まわりに回して電源を入れます。
- ビープ音が**「ピピッ」**と鳴って、下記を表示します。



③ 設定項目の選択は、**[FUNC]**スイッチを短く押すごとに、表示が切り替わります。
「Mc 5」→「dP N」→「CbSt」→「Sq22」→「NcoF」→「ScoF」の順に表示が切り替わります。
④ 設定内容の変更は、**[▲(アップ)]/[▼(ダウン)]**スイッチを押します。
- 設定値部分の表示は、設定を変更すると点滅します。

⑤ 変更した内容で確定するときは、**[通話]**スイッチを押します。
- 点滅表示が点灯に変わります。

※**[FUNC]**スイッチで設定項目を選択しても確定できます。
⑥ [セットモード]を解除するときは、無線機の電源を切ります。
※[セットモード]を解除するまで通話できません。
電源を入れなおしてから通話を確認してください。

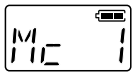
4 セットモードについて

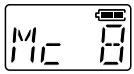
■ 設定項目[❶〜❻]について

❶ マイク感度の設定(出荷時の設定：Mc 5)
マイク感度を設定します。

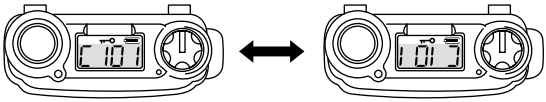
- **選択範囲：**1(感度：低)〜8(感度：高)

※設定値が大きいほど感度が高くなります。
通話相手から音声が小さく聞き取れないと言われる場合は、設定値を大きくしてください。
通話相手から音声が大きいので聞きづらいと言われる場合は、設定値を小さくしてください。



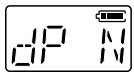


❷ 反転表示(出荷時の設定：dP N)
無線機本体を腰などにかけたとき、メモリーチャンネル名称の上下を反転表示することで見やすくする設定です。



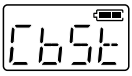
通常の表示　　反転した表示

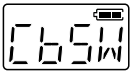
- **dP N**：反転表示しない
- **dP R**：反転表示する



❸ 接続ケーブル(出荷時の設定：CbSt)
OPC-661、OPC-636のいずれかを接続するとき、その識別に必要な設定です。

- **CbSt** ：OPC-661(マイク接続ケーブル)
- **CbSW**：OPC-636(マイクスイッチ内蔵型接続ケーブル)
  ※無線機本体の**[通話]**スイッチは無効になります。



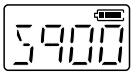


❹ スケルチレベル
受信する相手局の信号レベルの強弱に応じて、スケルチが動作するレベルを設定します。
設定値が小さいほど、弱い信号が受信できます。

- **選択範囲**：00(浅い)～64(深い)

※**[FUNC]**スイッチを長く押すと、出荷時のスケルチレベルに戻ります。

【ご参考に】
スケルチレベルは、検出電圧のわずかな違いが表示に反映されるため、同じ機種の場合でも個体差により出荷時の値が異なります。



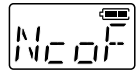
■ 設定項目[❶〜❻]について(つづき)

❺ 通話通知(出荷時の設定：Nc oF)

本製品(子機)が同じシステム内で運用する親機(IC-MS4880)の通信圏内にあるかどうかを通知するとき設定します。

- **Nc oF** ：通知しない
- **Nc oN** ：ビープ音で通知する

※「Nc oN」に設定すると、本製品と一致した信号を受信したとき、「ピロピッ」と鳴ります。また、通話圏外に移動した(受信信号が切れた)ときは、「ブブッ」と鳴ります。

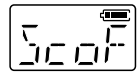


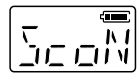
❻ 秘話機能(出荷時の設定：Sc-oF)

秘話機能を設定していない相手に、通話内容が盗聴されないようにする機能の設定です。

- **Sc oF** ：機能しない
- **Sc oN** ：機能する

※通話するすべての無線機で同じ設定にしてください。





■ 別売品一覧表

[★]印のものは、無線機本体に装着することで、JIS保護等級7(防浸形)保証の防水性能に適合します。

バッテリー関係

- BP-238★ ：リチウムイオンバッテリーパック
- BP-238N★ ：リチウムイオンバッテリーパック
- BP-239 ：アルカリ電池ケース(単3形アルカリ電池×2本)

充電器関係

- BC-161 ：卓上急速充電器
  ※電源には、BC-165(別売品)が必要です。
- BC-165 ：ACアダプター(BC-161用の電源)

スピーカー関係

- EH-11 ：イヤーパッド型スピーカー(プラグ：2.5φ)
- EH-12 ：ヘルメット取り付け型スピーカー(プラグ：2.5φ)

イヤホン関係

- EH-13 ：耳掛け型イヤホン(プラグ：2.5φ)
- EH-14 ：オープンエアー型イヤホン(プラグ：2.5φ)
- EH-15 ：イヤホン(プラグ：2.5φ)

マイクロホン関係

- HM-104 ：単一指向性タイピン型マイクロホン
- HM-104A ：無指向性タイピン型マイクロホン
- HM-123 ：本体取り付け型マイクロホン(イヤホン：EH-15付属)
- HM-149★ ：防水コネクター付きタイピン型マイクロホン
  ※コネクター部分だけが防水仕様

5 別売品とその使いかた

■別売品一覧表(つづき)

ヘッドセット関係

- **HS-86**　：ヘルメット取り付け型ヘッドセット
- **HS-88**　：ヘッドセット
- **HS-92**　：ヘルメット取り付け型ヘッドセット(ワニ口で固定)

肩にかける

- **MB-57L**　：ショルダーストラップ(LC-160用)

腰にかける

- **MB-104**　：ベルトクリップ

無線機の保護/アンテナ関係

- **LC-160**　：ハードケース(BP-238/BP-238N/BP-239)
- **FA-S28U★**：アンテナ(IC-4880本体付属品と同等)
- **FA-S29U★**：IC-4880用**防水形短縮**アンテナ

接続ケーブル関係

- **OPC-636**　：マイクスイッチ内蔵型接続ケーブル(ロック仕様)
- **OPC-661**　：マイク接続ケーブル
  ※マイクスイッチは、ありません。

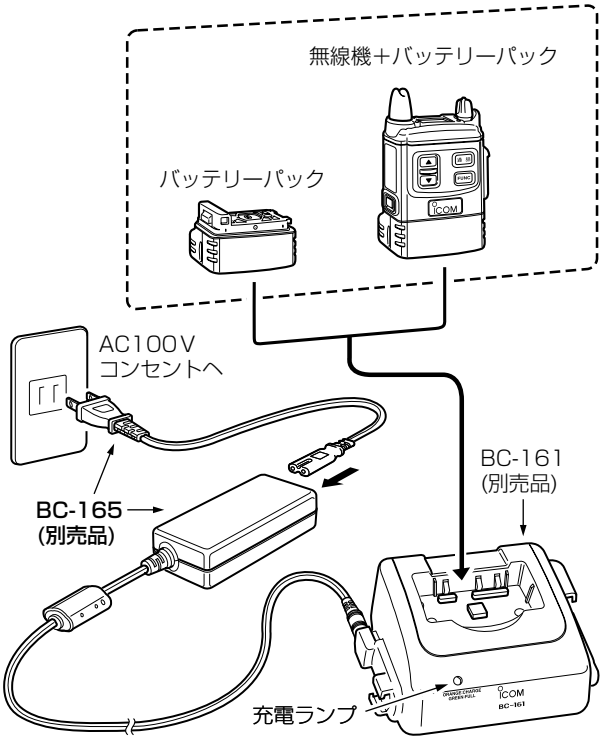
■ 充電のしかた

バッテリーパック(BP-238/BP-238N)を単体、または無線機に装着した状態で急速充電できます。

BC-161の電源には、必ずBC-165をご使用ください。

充電ランプは、充電中に橙色、充電完了で緑色に点灯します。

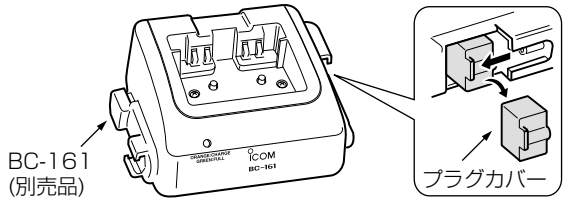
※赤点滅する場合は、34ページをご参照ください。



■ 連結充電について

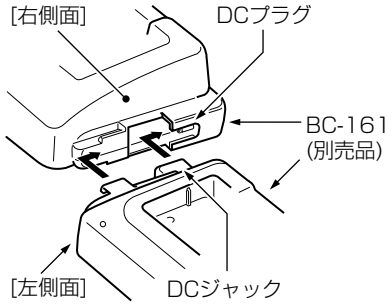
最大4台まで充電器を連結して、同時に充電できます。

① 充電器の右側面に差し込まれているDCプラグカバーを図の方向に取りはずします。



② 右側面にあるDCプラグと、もう1台のBC-161(左側面)にあるDCジャックを**「カチッ」**と音がするまで差し込みます。

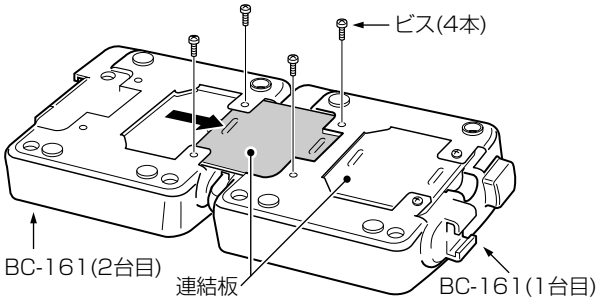
(手順③☞次ページへ)



⚠警告

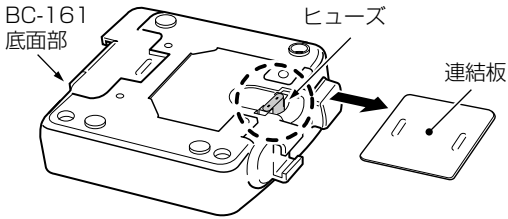
充電器は、5台以上連結して充電しないでください。
火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
※連結して充電できるのは、最大4台までです。

③ 底面部(2台目の充電器)にある連結板を固定するビス(2本)を取りはずして、連結板を1台目の充電器に移動させます。
取りはずしたビス(2本)と充電器に付属のビス(2本)で連結板を固定します。



■ヒューズ交換について

ヒューズが切れ、充電ランプが点灯しないときは、原因を取り除いてから、下記のヒューズ(4A/32V)を取り替えてください。



■安全な充電のために

⚠危険

- 充電器は、必ず弊社指定の別売品をご使用ください。
- バッテリーパック(BP-238/BP-238N)は、指定以外の充電器で充電しないでください。
- 「安全上のご注意」(☞Pix～xviii)を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

■正しい充電のために

バッテリーパック(BP-238/BP-238N)を無線機本体に装着した状態で充電するときは、必ず無線機の電源を切ってください。電源を切らない場合、充電が完了しません。

- お買い上げいただいたときや、約2ヵ月以上充電しなかったときは必ず充電してください。
- バッテリーパックは、使い切らずに継ぎ足し充電ができますので、常に満充電にしてご使用ください。
  なお、満充電した直後に再充電しないでください。
- 満充電、または完全に使い切った状態で長期間放置すると、バッテリーパックの寿命が短くなるおそれがあります。
  長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、バッテリー残量が中レベルを表示するまで使用して、無線機から取りはずした状態で保管してください。
- 極端に高温、または低温の環境下や、バッテリーパックと充電器の温度差が大きい場合、充電できないことがあります。
  0℃～+40℃の環境で充電してください。
- バッテリーパックの寿命(充電回数)は、使用する頻度(ひんど)によりますが、約300回です。
  指定時間充電しても、数分後に表示部の残量表示が変化する(運用時間が極端に短い)ときは交換時期です。
- 充電口や充電端子各部にゴミやホコリが付着すると、充電できないことがありますので、ときどきお手入れしてください。

■ 電池の残量表示について

表示部の は、バッテリーパック(BP-238/BP-238N)、アルカリ電池ケース(BP-239)の残量を表示します。

表 示	[バッテリーパック]/[アルカリ電池ケース]の状態
	十分に容量があります。
	電池を交換する時期です。(短時間の運用は可能)
	すぐに使えなくなりますので、電池の交換が必要です。
点滅	ほとんど容量がなく、30秒ごとに警告音でお知らせします。

■ 電池の残量警告音について

残量が 点滅 表示になると、残量警告音が本製品に接続された別売品のイヤホンから約30秒おきに繰り返し(2回)**「ピーピーピー」**と鳴ったあとは、**強制的に送信を禁止する**と同時に無線機本体のスピーカー部からも約30秒おきに繰り返し(2回)**「ピーピーピー」**と鳴ります。

※ 点滅 表示の状態が約2分間つづいたときは、**「LOW」**表示が点灯すると同時に、残量警告音が**「ピーピピピピ･･･」**と鳴り、5秒後に無線機の電源が自動的に切れます。

※警告音が鳴り出したら、バッテリーパックの場合は、すぐに充電(☞P18)し、アルカリ電池ケースの場合は、新しいアルカリ電池と交換(☞P24)してください。

5 別売品とその使いかた

■バッテリーパックの定格について

名　称 定格項目	BP-238/BP-238N
電池の種類	リチウムイオン
電池の容量	1400mAh
出力電圧	3.7V
寸　法 (幅×高さ×奥行)	58×32×21
	＜条件＞突起物は含まず/＜単位＞ mm
運用時間	約13時間
	＜条件＞ 同時通話状態で連続使用
充電時間	約2.5時間
	＜条件＞BC-161を充電器に使用時

※バッテリーパックに異常があると思われたときは、使用を中止して、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

※BP-238/BP-238Nは、JIS保護等級7(防浸形)相当の防水性能がありますが、完全防水構造ではありません。

※BP-239(アルカリ電池ケース)については、「BP-239(アルカリ電池ケース)」(☞P24～25)をご覧ください。

■急速充電器の定格について

- **名　　称**：BC-161卓上急速充電器
- **定格入力電圧**：AC100V(50/60Hz) ※BC-165入力電圧
- **使用温度範囲**：0℃～+40℃
- **保存温度範囲**：－10℃～+70℃
- **重　　量**：約225g
- **寸　　法**：122.5(W)×59.7(H)×95(D)mm

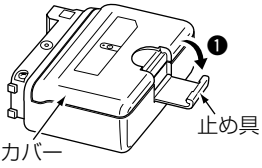
※定格･仕様･外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

■ BP-239(アルカリ電池ケース)

下記の手順を参考に、単3形アルカリ電池(2本)をアルカリ電池ケースに入れます。

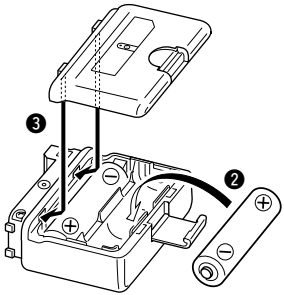
【アルカリ電池ケースの開けかた】

① 止め具に指をかけ、矢印の方向に開いて、カバーをはずします。



② 極性を間違えないように注意しながら、アルカリ電池を入れます。
カバーを取り付け、止め具で固定します。

③「付属品の取り付け」(☞P2)を参考に、BP-239を無線機に取り付けます。



■ アルカリ電池ケースの運用時間

アルカリ電池(2本)をアルカリ電池ケース(BP-239)に入れて使用したときの運用時間(寿命)は、同時通話状態で連続使用した場合、約11時間です。

※バッテリーパック(BP-238/BP-238N)使用時の運用時間については、23ページをご覧ください。

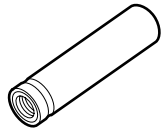
5 別売品とその使いかた

■アルカリ電池ケースを正しくお使いただくために

- 専用のアルカリ電池ケース(BP-239)は、防水性能(☞P iii)を保証していません。
- 単3形アルカリ電池専用です。
  マンガン乾電池、充電用ニッカド電池など、アルカリ電池以外で使用しないでください。
- 電池の＋と－の極性に、ご注意ください。
- 同じ種類の新しいアルカリ電池を使用してください。
  新しいアルカリ電池と使用済みのアルカリ電池をまぜて使用すると発熱の原因になることがあります。
- アルカリ電池の種類により、運用時間が異なることがありますので、ご注意ください。
- アルカリ電池の特性により、低温では使用時間が短くなります。
- アルカリ電池の電圧が動作範囲以下になると、無線機の電源は切れます。
- アルカリ電池ケースの電池端子部にゴミやホコリが付着すると、正常に使用できない場合がありますので、ときどきお手入れしてください。

■FA-S29U(IC-4880用防水形短縮アンテナ)

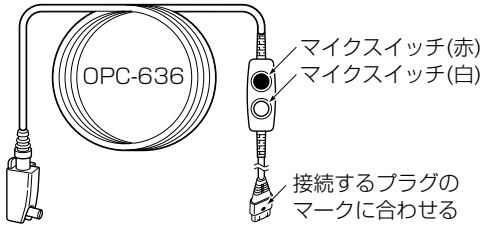
本製品に取り付けることで、無線機本体の防水性能に適合します。
◎外形寸法　：φ12.5×50[mm]
◎使用周波数：415MHz帯



■ OPC-636(マイクスイッチ内蔵型接続ケーブル)/
OPC-661(マイク接続ケーブル)

別売品のHS-86、HS-88、HS-92、HM-104、HM-104Aを接続してご使用になれます。

※OPC-636のマイクスイッチを使用するときは、「セットモード」(☞4章)から[接続ケーブル]の設定を変更してください。



※OPC-661は、マイクスイッチがありません。

〈OPC-636の場合〉

赤色のスイッチは、アンロック(未固定)式です。
白色のスイッチが出ている(出)ときに有効です。

- ▁▂ : 押しているあいだだけ送話する
- ▂▁ : はなすと送話を中断する

白色のスイッチは、ロック(固定)式です。
押し込まれているとき、赤色のスイッチを操作しても無効です。
押し込まれている状態で子機の電源を入れたときは、押しなおすまで送話できません。

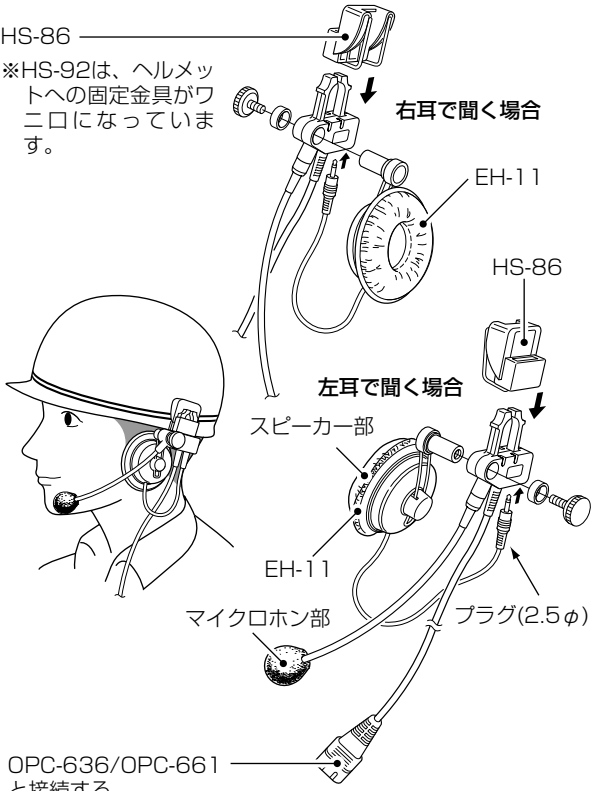
- ▁▂ : 押し込む(入)と送話する
- ▂▁ : 出ている(出)と送話を一時中断する

〈OPC-661の場合〉

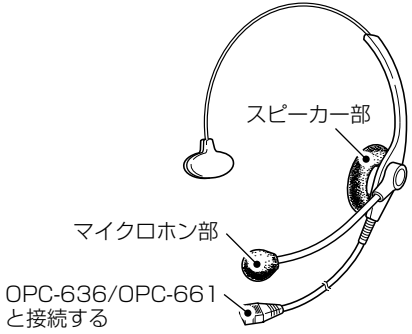
マイクスイッチが付いていない接続ケーブルです。
※通話は、無線機本体の**[通話]**スイッチを使用します。

■HS-86/HS-92(ヘルメット取り付け型ヘッドセット)と EH-11(イヤーパット型スピーカー)の組み立て

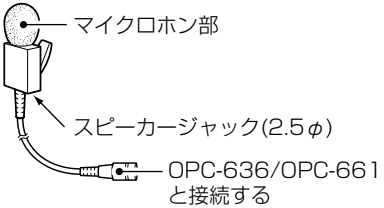
別売品のOPC-636、OPC-661および、EH-11、EH-12、EH-13、EH-14、EH-15と組み合わせてご使用になれます。



■HS-88(ヘッドセット)
別売品のOPC-636、OPC-661に接続してご使用になれます。



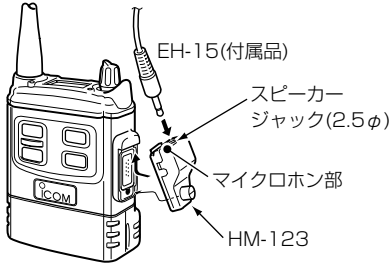
■HM-104(単一指向性タイピン型マイクロホン)/
HM-104A(無指向性タイピン型マイクロホン)
別売品のOPC-636、OPC-661に接続してご使用になれます。
スピーカージャックには、別売品のEH-12、EH-13、EH-14、EH-15が必要です。



■HM-123(本体取り付け型マイクロホン)

別売品のEH-12、EH-13、EH-14と組み合わせてご使用になれます。

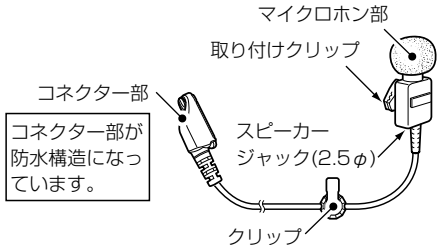
※HM-123には、イヤホン(EH-15)が付属しています。



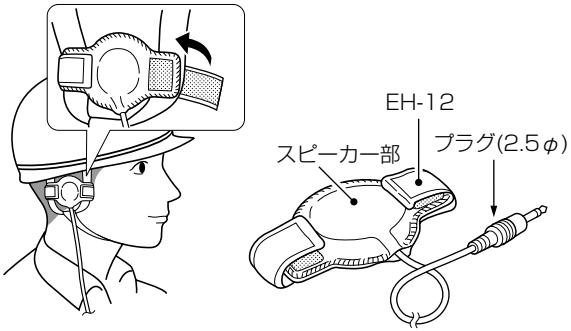
■HM-149(防水コネクター付きタイピン型マイクロホン)

別売品のEH-12、EH-13、EH-14、EH-15と組み合わせてご使用になれます。

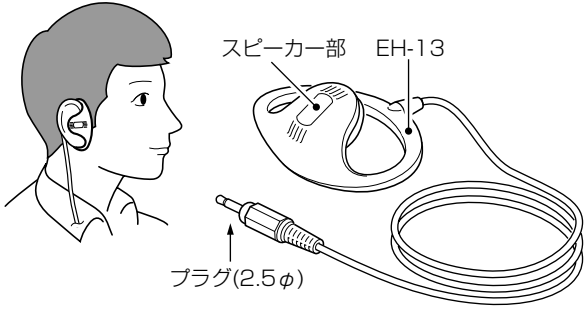
※マイクロホン部は、防水構造ではありません。



■ EH-12(ヘルメット取り付け型スピーカー)
別売品のHS-86、HS-92、HM-104、HM-104A、HM-149、HM-123と組み合わせてご使用になれます。



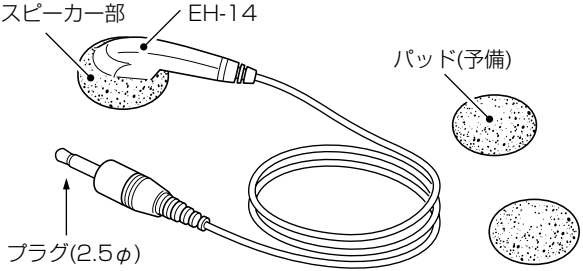
■ EH-13(耳掛け型イヤホン)
別売品のHS-86、HS-92、HM-104、HM-104A、HM-149、HM-123と組み合わせてご使用になれます。
※どちらの耳にも使用できます。



5 別売品とその使いかた

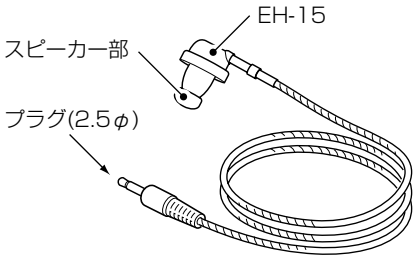
■ EH-14(オープンエアー型イヤホン)

別売品のHS-86、HS-92、HM-104、HM-104A、HM-149、HM-123と組み合わせてご使用になれます。



■ EH-15(イヤホン)

別売品のHS-86、HS-92、HM-104、HM-104A、HM-149、HM-123と組み合わせてご使用になれます。



■ メモリーチャンネル表示一覧表

「チャンネルメモリー」モード(出荷時の設定)で使用する場合、本製品(子機)とIC-MS4880(親機)に設定されているメモリーチャンネル表示の対比一覧表です。

1台の親機(例：M-Ch01)と4台の子機(例：C101、C201、C301、C401)が同時通話できます。

子機(本製品)	**親機**(IC-MS4880)	**子機**(本製品)	**親機**(IC-MS4880)
C1**01**	M-Ch**01**	C1**06**	M-Ch**06**
C2**01**		C2**06**	
C3**01**		C3**06**	
C4**01**		C4**06**	
C1**02**	M-Ch**02**	C1**07**	M-Ch**07**
C2**02**		C2**07**	
C3**02**		C3**07**	
C4**02**		C4**07**	
C1**03**	M-Ch**03**	C1**08**	M-Ch**08**
C2**03**		C2**08**	
C3**03**		C3**08**	
C4**03**		C4**08**	
C1**04**	M-Ch**04**	C1**09**	M-Ch**09**
C2**04**		C2**09**	
C3**04**		C3**09**	
C4**04**		C4**09**	
C1**05**	M-Ch**05**	C1**10**	M-Ch**10**
C2**05**		C2**10**	
C3**05**		C3**10**	
C4**05**		C4**10**	

※設定内容やメモリーチャンネル表示が出荷時の状態から変更されている場合は、上記の表と異なります。
そのときは、設定内容を販売店におたずねください。

6 保守について

■日常の保守と点検について

- ふだんのお手入れは、乾いたやわらかい布をご使用ください。
  汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少し含ませてふいてください。
  また、バッテリーパック(BP-238/BP-238N)やアルカリ電池ケース(BP-239)を取りはずした状態では、乾いたやわらかい布でふいてください。
  シンナーやベンジンなどは、絶対に使用しないでください。
- 無線機本体、バッテリーパック、充電器(BC-161)、アルカリ電池ケースの各端子(充電端子や電源端子)にゴミやホコリが付着すると、接触不良が原因で正常に動作しないことがあります。
  各端子は、乾いた布などで定期的にお手入れしてください。
- 使用される前に、電池の容量が十分残っているか、表示部の残量表示を確認してください。
  また、アルカリ電池ケース、またはバッテリーパック等がしっかりと装着されているか点検してください。
- 定期的に決まった位置の相手局と通話して、状態に変化がないかを調べてください。
- 音量が最小に調整されていないか、確認してください。

■防水性能維持の定期点検と保守について

本製品は、JIS保護等級7(防浸形)を保証(ご購入より1年間)している無線機です。
この防水性能を維持するためにも、定期点検(年1回)の実施をおすすめします。
また、防水保証の延長なども含んだ保守サービス(有料)を準備しております。
定期点検や保守サービスの詳細については、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。
お問い合わせ先については、別紙の「サービス受付窓口一覧」をご覧ください。

■故障かな？と思ったら

下記のような現象は、故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

〈現　象〉[ツマミ]を回しても電源が入らない

〈原因1〉電池をアルカリ電池ケース(BP-239)に入れるとき、極性を間違えている

対処：極性を確認して、アルカリ電池を入れなおす

〈原因2〉バッテリーパック(BP-238/BP-238N)、またはアルカリ電池ケースの接触不良

対処：アルカリ電池ケースの電池端子、またはバッテリーパックの充電端子を清掃する

〈原因3〉バッテリーパック、またはアルカリ電池の消耗

対処：バッテリーパックの場合は充電し、電池の場合は新しいアルカリ電池と交換する

〈原因4〉バッテリーパックの場合、過放電保護回路が動作している

対処：無線機からバッテリーパックを取りはずし、少し充電したあとにバッテリーパックをもう一度装着してから電源を入れる

〈現　象〉充電中に充電器のランプが赤色点滅になる

〈原　因〉無線機の電源を入れた状態で充電している

対処：無線機の電源を切った状態で充電する

※症状が変わらない場合は、バッテリーパックの故障、または寿命ですので、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

〈現　象〉充電が完了(充電器のランプが緑色に点灯)しない

〈原　因〉無線機の電源を入れた状態で充電している

対処：無線機の電源を切った状態で充電する

■故障かな？と思ったら(つづき)

〈現　象〉表示部の表示が変化しない

〈原因1〉ロック機能が動作している
対処：ロック機能を解除する(☞P6～7)

〈原因2〉状態表示ランプが赤色に点灯している
対処：[通話]スイッチ(マイクスイッチ)の状態を確認する

〈現　象〉スピーカーやイヤホンから音が聞こえない

〈原　因〉音量が最小に調整されている
対処：[ツマミ]の位置を確認する(☞P8)

〈現　象〉通話できない

〈原因1〉親機(IC-MS4880)の電波が届かない場所にいる
対処：場所を移動してから通話してみる

〈原因2〉相手局が不在、または親機の電源を切っている
対処：相手局、または親機の状態を確認する

〈原因3〉メモリーチャンネルが合っていない
対処：本製品と親機のメモリーチャンネルを確認する

■ 故障のときは

●保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」(☞P34～P35)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●弊社製品のお問い合わせ先について

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先

アイコム株式会社　サポートセンター

0120-156-313 (フリーダイヤル)

◆ **携帯電話・ＰＨＳ・公衆電話からのご利用は、**

06-6792-4949 (電話料がかかります)

受付 (平日 9:00～17:00)

電子メール：support_center@icom.co.jp

アイコムホームページ：http://www.icom.co.jp/

弊社製品の故障診断、持ち込み修理などの修理受付窓口は、別紙の「サービス受付窓口一覧」、または弊社ホームページ(http://www.icom.co.jp/)をご覧ください。

高品質がテーマです。

A-6581H-1J-②
Printed in Japan
© 2007–2008 Icom Inc.

この印刷物は環境にやさしい再生紙と
植物性インクを使用しています。

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32